

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 フクシ・ハリマ共同事業体 ・代表者名 福士 昌 ・住所 東京都江東区大島一丁目9番8号	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	元年度	22,834	23,173	27,955	31,508	26,051	32,566	25,597	22,721	16,847	24,042	20,970	3,719	277,983
	30年度	28,685	23,293	38,709	41,578	20,519	35,142	26,112	30,393	16,957	23,230	22,864	26,949	334,431
	29年度	27,158	27,443	26,029	24,002	21,483	32,033	37,492	31,848	21,382	17,602	24,504	24,438	315,414
	28年度	24,359	21,750	21,654	27,003	24,264	29,397	29,768	30,815	17,307	20,136	31,593	24,873	302,919
	27年度	23,292	20,834	22,409	24,000	20,118	28,363	33,001	24,390	19,287	25,970	23,865	21,622	287,151
収支実績	収入	指定管理委託費	33,813,704											
		利用料金収入	26,675,580											
		事業収入他	37,067,128											
		補償金	3,631,843											
		収入合計(円)	101,188,255											
支出	管理運営費	103,649,336												
	支出合計(円)	103,649,336												
	収支差額(円)	-2,461,081												
サービス向上の取組	<p>●かわさきアプリを頻繁に更新することにより、利用者の役に立つタイムリーな情報を発信し、利便性の向上を図った。</p> <p>●施設利用回数券は、家族でも利用しやすい110円券12枚綴りを1,100円で販売し、利用者の利便性向上を図っている。(施設利用料金:大人220円、小人110円) 【8,068組販売】</p> <p>●近隣住民による花や盆栽の展示により来場者の目を楽ませるとともに、作品発表の場の提供も行った。</p> <p>●区民デーとして、様々な世代向けに「アクティブシニアスポーツ」等の無料イベントを毎月開催した。</p> <p>台風19号に伴う休館 令和元年10月12日(全日)～13日(午前中)</p> <p>収支のマイナスについて(令和元年度)</p> <p>コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月28日から3月31日まで一部利用中止(団体利用のみ)となったことに加え、4月以降の教室収入(3月入金)についても全面休止に伴いゼロであったことからマイナスが生じた。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
事業成果	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4	4.8
		当初の事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由)	<p>【利用者満足度】</p> <p>●スポーツ教室アンケートによる能動的方法、ホームページ、フェイスブック、意見箱等による受動的方法により利用者満足度の測定を行い、収集した意見には、必要に応じて所管課と連携を図り、即時対応を徹底した。第3期教室アンケート調査による満足度はプログラム及び講師の指導ともに約95パーセントを超える高い水準となっている。</p> <p>【事業成果】</p> <p>●若い世代から高齢者までの幅広い世代を対象としたスポーツ教室の開催、子どもの体力向上、運動への関心を高めるプログラムの実施等、公の施設の運営者として、川崎市の施策を十分に理解し、区民が継続的に運動を行う機会を提供した。スポーツ教室については、教室ごとにアンケート調査を行い、利用者の意見を講師に伝えたり、講師の変更を行うことにより、教室の質の維持・向上を図っている。その結果、年間の利用者数は、コロナウイルスの影響があったにも関わらず、目標値比で約102パーセントであった。(通常営業であれば112%)</p>			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されたか			
	収入の確保	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由)	<p>【収入の確保】</p> <p>●前年度の団体利用実績と比較した際の利用者数減及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月28日から3月31日まで一部利用中止となったことで、収支に大きく影響した。</p>			

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	4	6.4	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)】 ●体育の日記念イベントでは、富士通カワサキレッドスピリッツと連携し、選手による「バレーボール教室」や、記録測定会、ナイトジムの開催等を行った。 【業務改善によるサービス向上】 ●施設ホームページ以外にかわさきアプリ(イベント、子育て)を頻繁に更新し、利用者の利便性向上に寄与した。 ●より気楽な運動参加と研修生の有効活用のため、当日参加型のショートタイムについて、ヒップホップ・リズムカルエクササイズ・イキイキ音楽体操を新設した。 ●体力測定会、ボルダリング体験会、スポーツ教室体験会、トレーニング体験会等の無料開放イベントを毎月開催して、スポーツに対する関心を高め、自発的なスポーツ活動の実践に導くとともに、利用者の増加につなげた。 【利用者の意見・要望への対応】 ●レンタルロッカーの設置、ダーツ体験会・スポーツコンディショニング体験会等の開催など、利用者の要望に応えた。また、近隣の迷惑にならないよう、公共交通機関を利用して、トレーニング室を利用した場合、ポイントに1ポイント追加するサービスを行った。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4	6.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	4	6.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 【適正な人員配置】 ●毎日8時間トレーニング室にトレーナー2名を配置することにより、利用者のマシン利用状況を的確に把握し、利用者が安全に安心してトレーニングできるよう配慮した。また、無料で開催しているミニセミナーやボルダリング講習、トレーニング初心者講習の開催時はスタッフの増員を行っている。 【担当者のスキルアップ】 ●教室受講者の意見を参考にするとともに、館長が指導者のスキルを確認、改善がみられない場合は指導者の変更を行い、質の高いスポーツ教室を開催している。 ●館長、副館長以外のスタッフ2名が初級障害者スポーツ指導者養成講習会に参加して資格を取得し、障害をお持ちの方が来館しても適切な対応が取れる体制となっている。 【安全・安心への取組】 ●スタッフの名札入れの中には、CRP(心肺蘇生法)、AEDのフローチャートが常備されている。 ●地域住民向けに、心肺蘇生法、熱中症予防及び応急手当講習を無償で開催した。 ●館長が衛生推進者養成講習を受講し、安全管理体制を向上させた。 ●所轄の警察署には巡回を依頼し、防災訓練は年に2回実施、うち1回は消防署員の指導を受けながら、地域と連携して実施した。					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	4	4.8
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 【清掃業務】 ●1時間ごとにスタッフが巡回し、土足入場者、ゴミの放置、清掃状況等のチェックを行い、利用者に小まめに声かけを行うとともに、開館前に集中して人員を配置し、共用部分の清掃を完了させることにより、開館から15年近く経過しているが、きれいな状態が維持されており、利用者の満足度向上につながった。 【外構・植栽管理】 ●植栽管理専門会社による定期作業に加え、運営スタッフによる日常的な作業を行うことにより、美観維持を図った。また、IPM方式による生息状況調査を行い、薬剤散布を極力減らし、剪定・捕殺による作業を行うことにより、利用者の健康被害防止及び環境負荷低減を図った。 【備品管理】 ●備品管理においては、写真付きの台帳を整備し、備品の所在が一目で確認できるようになっている。また、利用者から要望のあった消耗品については、速やかに更新を行った。				

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	川崎市スポーツ推進計画やかかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた自助・公助の取組の推進			4.0
	(評価の理由) 【市の政策課題への取組】 ●スポーツデーの卓球では、車椅子利用者向けの優先台を設けている。 ●体育の日記念事業において、サウンドテーブルテニス、ポッチャの体験会を開催した。 ●大蔵中学校の生徒向けに、車椅子バスケットボールの体験授業を行った。 ●障害者スポーツデーを2回開催し、卓球バレー、ポッチャを行った。 ●施設内にGOGBの啓発コーナーを設け、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の普及啓発を行った。 ●近隣自治会と連携し、高齢者向け無料開放イベント「アクティブシニアスポーツ」を開催した。				

5. 総合評価

評価点合計	76.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> ●所管課と定期的な業務報告の場以外にも、随時打合せの場を持ち、連携してサービスの向上に努め、スポーツセンターの設置目的にかなった運営がなされている。 ●団体利用者数の減に加え、コロナウイルス感染拡大防止のための一部利用中止(2月28日から3月31日まで)があり、利用者数や収支に大きな影響が出た。 ●中学生の職場体験の受入れ、寺子屋事業への協力、総合型地域スポーツクラブの活用、地元出身プロ選手の紹介など地域と連携した取組を行い、公共施設として、宮前区でのスポーツ普及に貢献している。 ●5月にスタッフ参加の防災訓練開催、2月にはスタッフに加え消防署立ち合いのもと利用者も参加した防災訓練を行うなど、高い防災意識を持っている。 ●新設した「チアダンス教室」について、サッカーリーグハーフタイムショー時のチアダンス発表を行い、区民が新たなスポーツを観戦する機会を提供した。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> ●総利用者数の中で、団体利用者数の前年度比が減となっているので、適正な利用者数を精査し、料金面など公共施設であることの優位点を活かし対策を講じること。 ●施設オープンから15年目を迎えることを考慮し、区民の方々が安全に安心して快適に施設を利用出来るよう、所管課と連携し、計画的な保守管理を行い、施設の維持管理に努めること。 ●地域コミュニティの場として、コロナウイルスの感染拡大防止対策を十分に行いながら、施設を利用しない区民でも気軽に立寄ることができ、その方たちが健康維持やスポーツに興味の持てるような運営に努めること。 ●利用者ニーズを見極め、運動を始める機会づくりや継続が可能となるよう、指定管理者の持つノウハウを最大限活用した事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を行うこと。 ●今後も総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ団体などの支援を行い、地域に根付いた運営を行うこと。 ●アフターコロナを見据えた高齢者の運動する機会を提供するものとし、いつまでも元気に自分の足で活動できるよう、体力の持続に向けた事業を今後も行うこと。 ●今後も、川崎市スポーツ推進計画やかかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けた自助・公助の取組の推進を継続して行うこと。 ●延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けて、適宜広報等の協力を行うこと。
--